

活動報告書

報告者氏名： 井上賞子

所属： 松江市立意東小学校

記録日： 31 年 2 月 5 日

キーワード 読み書きの困難 コミュニケーション

【対象児の情報】

○学年 小学校 3 年生

○障害名 読み書きの困難、コミュニケーションの苦手さ

○障害と困難の内容

- ・文字と音とのつながりがとりづらく、巧緻性の課題も推察された。そのため、自分の名前を読むことも書くこともできなかった。
- ・思いをうまく伝えることができず、自発的な発信があまり見られなかった。
- ・活動への見通しが持ちづらく、定着への取り組みや集中が継続しにくかった。

【活動目的】

○当初のねらい

- ・情報を共有する方法を増やしていくことで、応答する体験や喜びを重ね、周囲への関心が広がる
- ・発信や確認の手だてになるよう、文字の読み書きを習得する。

※30 年度より追加したねらい

- ・苦手さを補う学び方を知ることで、自学年の学習に取り組む

○実施期間 平成 28 年 4 月から平成 31 年 2 月

○実施者 井上賞子

○実施者と対象児の関係 ☆担任として

【活動内容と対象児の変化】

○対象児の事前の状況

【読む】

- ・自分の名前も、判別できない。読める文字は O で入学。

【書く】

- ・自分から鉛筆を持った経験がほぼない。
- ・文字だけでなく、絵を描くこともしなかった。

【話す】

- ・吃音と幼児音があり、早口で不明瞭。
- ・声をかけられても、反応を返さず黙って立ち去ることも多い。
- ・自分から話しかけたり、何かを求めたりすることはあまりない。

【聞く】

- ・理解言語は多いように思われたが、注意の継続が困難で多動傾向もあり、聞いていないように見える。

【行動】

- ・周囲へ働きかけたり意志を伝えたりする経験に乏しく、困ったり不安になったりすると無言でその場を離れたり、歩き回ったりする。
- ・保育所時代は加配が付き、一対一で対応していた。
- ・新しい活動や場所に対しては、とても不安な様子を示す。

※就学前の姿からは、軽度の知的な遅れも疑われた。しかし、発信の少なさもあり、本人の願いや思いも、周囲には伝わっていないように見えた。そこで、取り組みやすい方法や確認できる方法を持つことで、「知りたいこと」「伝えたいこと」を広げ、安心できる人や場所を増やしていきたいと考えた。



○活動の具体的内容

1, 情報を共有する方法を増やしていくツールとして

→①「**安心できる関係づくり**」を目指して

「ByTalk forShool」を活用



→②「**関わる対象や機会の広がり**」を目指して

「pepper」をつながりの媒介として活用



→③「**関わり方を次のステージへ**」

「pepper」を共通の対象として活用

2, 「読み」「書き」の習得を支えるツールとして

☆**ひらがな・カタカナの習得を目指して**

→①音との一致を促す

「デージーポット」「FirstWords: Japanese」「ひらがな 五十音」「これなあに？」

「ひらがなよめるかな」「ひらがな こどもゆびどりる」を活用

→②完成の見通しをもって書く体験につなげる

「1日10分でえがじょうずにかけるアプリ」を活用

→③文字のとらえやすさを支える

「ひらがなおけいこ for iPhone」を活用

→④言葉の合成や分解、イメージ化を支える

「にほんごひらがな」「Bitsboard PRO」「視覚支援シンボル「さがすんです。」」を活用



この4つは、現在配信終了

☆カタカナの習得を目指して

→⑤ 文字の捉えやすさを支える

「カタカナおけいこ 楽しく学べる日本語教材」

☆**漢字の習得を目指して**

→⑥音との一致を促す

「小学漢字よみかたクイズ 1500 問」「i 暗記」

「まなキャン 小学漢字読み方」「漢字ドリル」

→⑦文字の捉えやすさを支える

「小1 かん字ドリル - 小学校で学ぶ漢字 80 字!」「小2 漢字ドリル - 小学校で学ぶ漢字 160 字!」

☆**文章の読み書きを目指して**

→⑧言葉の塊をとらえる、音を手掛かりにイメージを広げる

「デージーポット」「絵本が読み放題! 知育アプリ PIBO」

「PhotoMemes for iPad」

→⑨選択することで、文章を構成していく

「ずぼら日記」(開発中の試作アプリ) ※ずぼら日記は1年時の取り組みです

「SimpleMind+」

→⑩視覚化して、伝えたい内容を整理していく

「SimpleMind+」「ロイロノート」



☆**ノートテイクを目指して**

→⑪日常の中に入力する場面を組み込んでいく

「7note for ipad」「PhotoMemes for iPad」 物理キーボード



→⑫デジタルノートを活用する

「MetaMoji Note」 ドキュメントスキャナー

→⑬調べてまとめる

「Google Earth」「花判定機」「ロイロノート」

「My 図鑑 ～図鑑作成アプリ～」



3. 自学年の学習に取り組むためのツールとして

→⑭デジタルノートを活用する 2

「MetaMoji Note」

→⑮外国語活動での活用

「Bitsboard PRO」「DropTalkHD」「わたしの読み上げ単語帳」

「ABC おけいこ楽しく しっかり学べる英語教材」「By Talk for Shool」「グーグル翻訳」



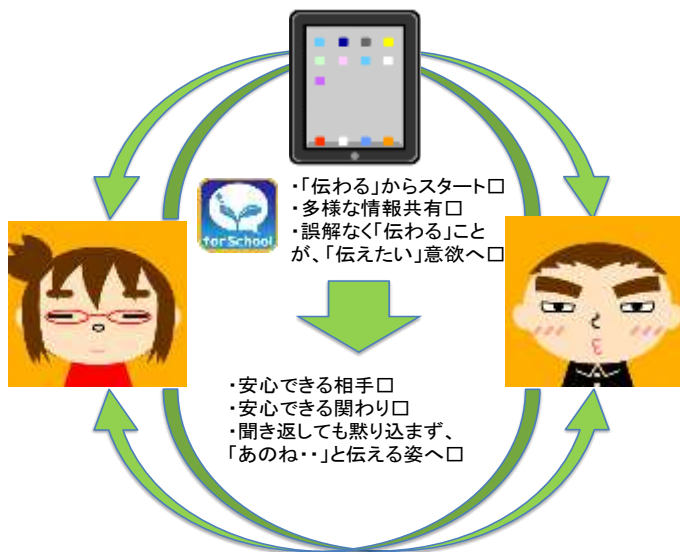
※青いマーカー部分は、1 年生時の取り組みであり、詳細は魔法の種の報告書をご参照いただきたい。

※黄色いマーカー部分は、2 年生時の取り組みであり、詳細は魔法の言葉の報告書をご参照いただきたい。

※魔法のダイアリーでは、緑のマーカー部分について、報告する。

○対象児の事後の変化

①「安心できる関係づくり」を目指して



・1 年時の「ByTalk forShool」を活用しての取り組みは、安心して関われる関係づくりにつながった。

☆1 年生終了時の周囲との関わりの状況

・安心できる場所での、限定的な関わりや、教師との関係の中でのやりとりは増えていたが、教室以外の場所では、眉間にしわを寄せている姿が目立った。

・Q さんが反応しないので、周囲の子ども達からの働きかけも、あまり見られなかった。

・日常の中で、Q さんから支援学級以外の友達の名前を聞くこともなかった。

子ども同士の関わりは、かなり限定的。周囲への興味関心は、薄いように見えた

しかし3 月末時点で、Q さんは同級生全ての名前を憶えていた。得意なことも、話すことができた。

・反応を返さない時も、しっかり見て・聞いていた

・「何を話せばいいのか」（発信のきっかけ）を、見つけられなかったのかもしれない。

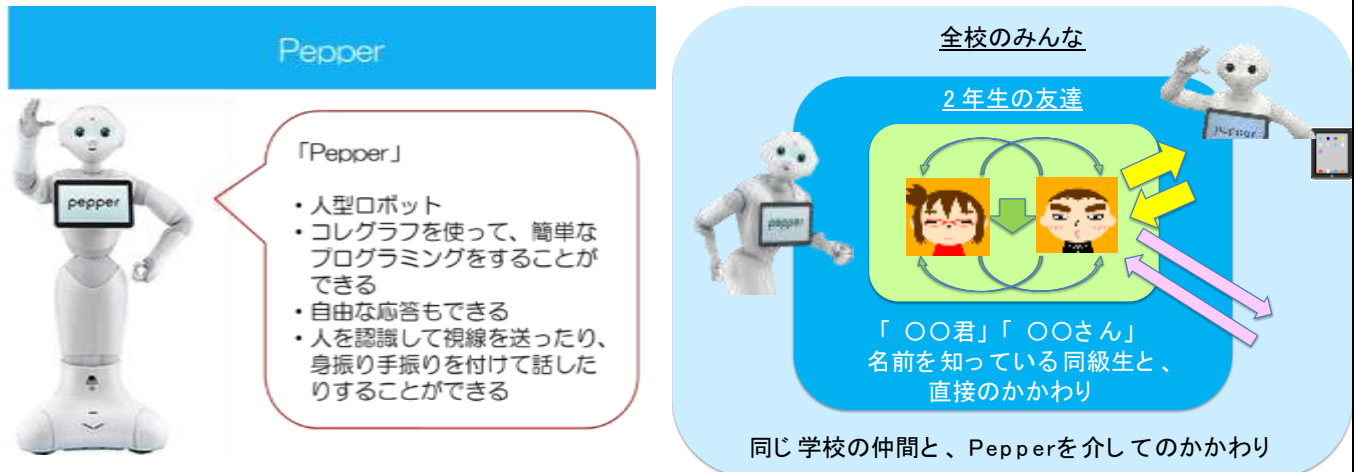
そこで、日常的に情報を発信したり、それに応じる形で、周囲からの情報を受け取ったりする場を設定することで、関わりへの意欲を広げていきたいと考えた。

②「関わる対象や機会の広がり」を目指して

・いきなり直接やりとりすることを目指すのではなく、お互いに関心を寄せているツールを介していくことで、安心して発信できる機会を増やしていきたいと考えた。

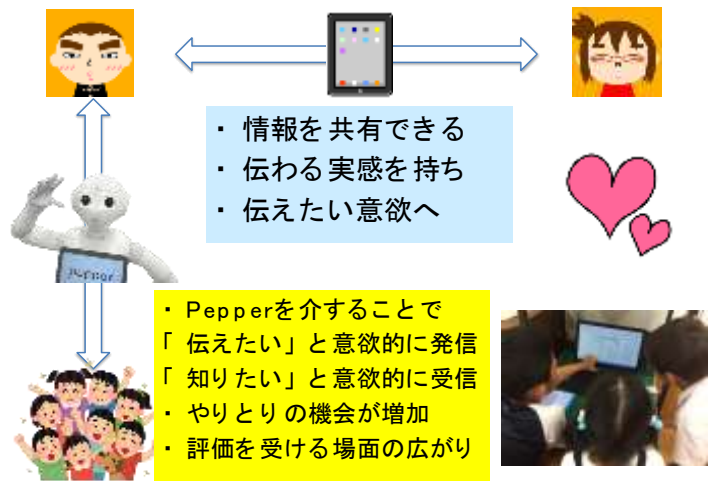
・また、発信の増加とツールへの関心で、周囲から Q さんへの働きかけが増えることにも期待した。

・Pepper は、誰もが注目する、魅力的なツールであり、Pepper を介することで、Q さんの「発信」をたくさんの人に「受信」してもらえ、コミュニケーションや評価を受ける機会を広げていけると考えた。



☆2 年生終了時の周囲との関わりの状況

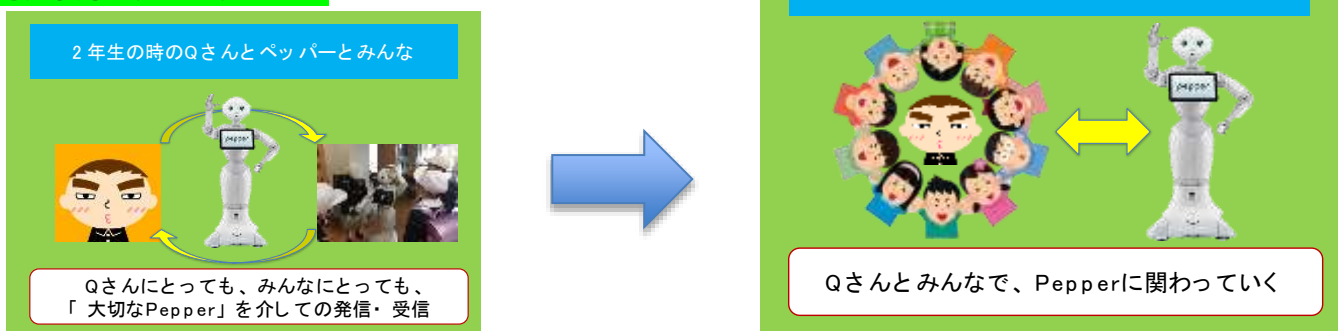
- ・ペッパーという、Qさんにとっても周囲の子ども達にとっても、魅力的なツールを紹介したことで、発信の意欲が高まっている。
- ・周囲から声をかけられることも、飛躍的に増えた。Qさんがいないところでも「これQさんが作ったんだって。すごいよね」と話している声も聞こえる。
- ・「みんなにできることができないQさん」から、「みんなにできないことができるQさん」へ、周囲の評価が大きく変わったことは、本人にとっても自信につながった。
- ・Qさんから、2年生の友達が九九アプリへ挑戦に来るのを心待ちにする発言も聞かれた。
- ・休み時間に、2年生の子達と一緒に遊ぶ姿が見られるようになった。
- ・交流学級で、かるた大会、調理活動などに参加し、役割を果たせるようになった。



- ・共通の関心が高いペッパーを介しての活動は、発信や受信のきっかけにつながった。
- ・関わる機会が増えたことで、Qさんの集団への参加意欲も高まっている。

そこで、今年度は、「Pepper を介して関わる」ところから一歩進んで、「一緒に相談して Pepper を活用する」を目指したいと考えた。昨年度実感した、「Pepper のことは自分が一番わかっている」という思いと周囲からの評価を、継続した活動の中で、自信につなげていきたい。

③関わり方を次のステージへ



P.H.C. はじめました!



P.H.C.とは、Pepper Help Club の略

- Pepper のプログラミングを
- Help(助ける)してくれる
- Club(クラブ)仲間の集まり

※活動ごとに募集 ※班から1人

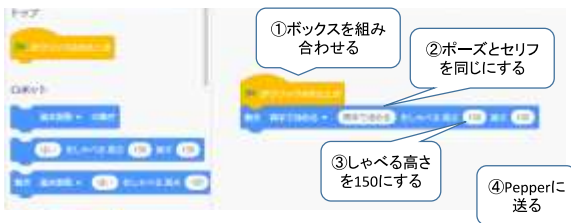
プログラミングの流れ

- QさんとP.H.C.メンバーで相談
↓「今回は何をしようか?」
- Qさんがプログラミングに挑戦
↓「どうやったらできるかな」
- 高校生のお兄さんがマニュアルを作成
↓「困った時は、これを見るよ」
- Qさん→P.H.C.のメンバーに教える
↓「こうやったらできるよ」
- P.H.C.のメンバーが、3年生みんなに教える
「みんなでやってみよう!」

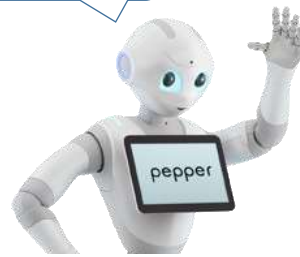
P.H.C. 活動その①

「ポーズブックを作ろう」

ロボブロックに登録されている
Pepperのポーズを1つずつプログラ
ミングして、ポーズブックを作ろう



オッス!□



タブレットに注目
以上です

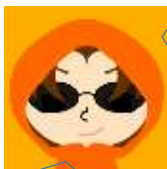
オッス!

いやいやいや

おじぎ

片手でどうぞ

01_ガッツポーズ



高校生ボラン
ティアのMさん
がマニュアルを作成



魔法のワンド、魔法の宿
題で報告したMさん。現
在高校1年生。ボラン
ティアで週に一度手伝い
に来てくれる

- やってみる
- 1行程ずつス
クショにとる
- 簡単な説明をつ
ける



Mさんにとっての学び

- 「3年生が見てわか
るもの」という意識を
もって工夫する体験
- 表現方法のスキル
アップ
- 自分の作ったものが
誰かの役に立つという
達成感

- 初めて使った
- スクリーンショット
 - 図形の挿入
 - 画像レイアウト



マニュアルを印
刷して、ファイ
リング

P.H.C.のみんな
が使うファイル
を準備



これだけででき
るかな?

マニュアルを見ながら、
Qさんがプログラミ
ングするため



一太郎スマイルの
50音キーボード
を活用

3年生はまだローマ字の学習をしてい
ないため、かな入力しかできない。
しかし、かな入力も、物理キーボード
でできる子はほぼいない状態のため、
50音キーボードが必要だった。



まずは、P.H.Cのメンバーに教える



次は、3年生全員に



「Qくん、こっち教えてー」と頼られまくり

P.H.Cのメンバーは、各班で、Qさんは教室中を飛び回りながら

プログラミングしたポーズを動画で撮影



動画にタイトルをつけて、Book Creator for iPadにまとめていく

ペッパーポーズブック



意東小学校 三年生作

ポーズブックの完成!

給食の時間に、紹介しました!



去年のペッパーチャレンジは、1対1の活動だった。それでも、DropTalkで作った作業の流れを確認しながら声をかけていた。今年はマニュアルを使って事前に内容を理解したら、当日はパソコン室の中を飛び回って困っている人にどんどん声をかけていた。

1つ解決すると「Q っち、こっちもー」とあちこちから手が挙がる。「わかった!」とパソコンの隙間を時間いっぱい行き来する姿は本当に頼もしかった。困っている人がいないか、Qさんが自分からきょろきょろと探す姿も見られた。

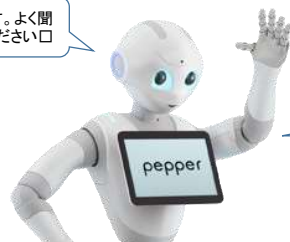
P.H.C. 活動その②

「ペッパーイングリッシュを作ろう」

- 3年生になって外国語活動が始まり、子ども達の英語への関心が高まっている
- クイズの形にすることで、Pepper と双方向で楽しむ活動につなげられる

ペッパーに英語を話させて、クイズを作ろう

問題です。よく聞いてください



apple

わかりましたか?

答えはりんごです



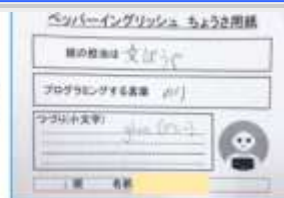
P.H.Cのメンバーと相談

ペッパーにしゃべらせた言葉と分担を決定



つづりを調べておく

- コリン先生に聞く
- ジョセリン先生に聞く
- お家の人に聞く
- Qさんと調べる



グーグル翻訳大活躍!



高校生ボランティアのMさんがマニュアルを作成

今回、行程が多いんだよね。どうしたらわかりやすいかなあ



1つ1つ説明するんじゃなくて、パッと見てわかるようにしたら?

使うブロックを全部並べた状態に番号をつけて、説明も見えるようにした



画像の登録もあつという間



「腕時計」と打ち込んでから、ひらがなにもどしていた。「車椅子」「蛇」なども、検索時は漢字でやっていたが、登録するときは何も言われなくても「3年生がわかるように」直す姿が見られた。



マニュアルを見ながら確認

白のところまで引っ張るって書いてあった方がいいんじゃない?

「灰色が白になるまで」を追加

まずは自分でプログラミングして確認



「オレはこっちでできるから」とキーボードで



P.H.C.のみんなに教える



3年生みんなに教える



P.H.C.のみんなも頑張る!

P.H.C. 活動その②

3年生と発表会!



P.H.C. 活動その②

全校のみんなに公開!



3年生全員でのプログラミングが終わった時、満面の笑顔で「次はいつやる?」と聞いてきた。普段は面倒なことは「オレ、いい」「いや、やらん」ということが多いだけに、

・頼られたこと ・役割を果たせたこと ・友達から「ありがとう」「わかったー」と言われたこと

どれも、Qさんにとってはうれしい経験だったようで、次への意欲につながっている。

2.「読み」「書き」を支える取り組みについて

☆ひらがな・カタカナの習得を目指して

※①～⑤の取り組みについては、「魔法の種」の最終成果報告書をご参照いただきたい。

※段階を踏んだ取り組みの中で、Qさんはひらがな、カタカナを習得していった。

☆漢字の習得を目指して

☆文章の読み書きを目指して

※⑥～⑩の取り組みについては、「魔法の言葉」の最終成果報告書をご参照いただきたい。

※確認の方法を持ちながら繰り返す取り組みの中で、Qさんは漢字を習得し、文章の読み書きについても、自分の学年の課題を解決できるところまで、習得してきている。

☆ノートテイクを目指して

⑪日常の中に入力する場面を組み込んでいく

- ・時間をかければ整った文字も書けるが、考えるスピードも速くなってきたため、書きたいスピードに合わせると、形が崩れる。
- ・画数が多い漢字も、覚えて書くことはできるが、バランスが取れない。
- ・Qさんの「書き」については、今後情報が増えていくことを考えると、代替えの選択肢も持っておくことが必要だと思われた。



☆入力方法の選択にかかわって

- ・2年生の10月時点で、「50音キーボード」「フリック入力」は、アプリを使用する中で日常的に使っていた。
- ・50音キーボードは使い慣れているが、キーが小さいため、文章の量が増えるにつれて、隣のキーを押してしまうなど、打ち間違いが多くなっていた。
- ・フリックもスムーズに使えるが打ち間違いが多く、i暗記への入力以外は、好んでは使わなかった。
- ・音声入力は、吃音があり、難しい。
- ・手書き入力からのテキスト変換は、枠の中に字が納められないため難しい。



物理キーボードの導入

・物理キーボードは、スタート時にキーの位置が覚えにくいというリスクはあるものの、位置さえ覚えれば、感覚が返るため、キーの押し間違いが減ることが期待できると、画面が広く使えるという良さがあるため、負担の少ない状態で導入していき、少しずつ慣れさせていきたいと考えた。

☆Qさんにとっての入力方法の選択肢



50音キーボード、フリック

- ・どちらも1年時から使っていて慣れているが、タッチミスが多い
- ・50音キーボードだと画面が狭くなる



音声入力

- ・吃音があり、難しい

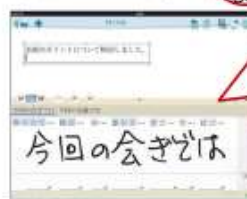
物理キーボード

- ・押した感覚がしっかり返るので、ミスが減ることが期待できるのでは？



手書き変換

- ・スペース内に文字を収めるのが難しい



☆3年生からノートテイクが必要になる場面が増えると予想されたので、2年生の12月から、毎日の連絡帳を書く時間を物理キーボードになれるための時間として設定し、7notes でテンプレートに打ち込んでいく活動を始めた。



- ・ios 対応のひらがな入力のできる物理キーボードは数が少なく、いくつかのキーは印刷された場所とは違うところに割り当てられていたため、シールで情報を補正して使用している。

- ・最初はキーを探すのに時間がかかるので、横について見つけれない時は場所のヒントを出しながら進めていた。「た」「し」「ん」といった、よく使うキーについては、すぐに覚え、予測変換を上手に使いながら、1人でずらずらと入力できるようになっていった。2年生の2月には、1人で全部入力し、スクリーンショットをとってカレンダーアプリに張り付けていくまでの作業に、スムーズに取り組めるようになった。

- ・「を」「っ」「。」「、」といった、2つのキーを同時に押す必要のあるものについては、最初は「二本の指」を合言葉に両手の人差し指を使って打っていたが、いつの間にか小指と人差し指を使って片手で打とうとするようになった。「誰かに教わったの?」と聞くと「いや、この方が楽だし」と話すなど、自分なりの「打ち込みやすさ」を工夫する姿も見られた。

- ・3年生の7月には、両手を使ってQさんなりにホームポジションを意識しながら、打ち込むことができています。

- ・打ち終えた連絡帳はスクリーンショットに撮ってからカレンダーアプリに保存している。テキストになったものは読みやすく、「書いて終わり」ではなく、自分で確認するために開く姿が見られるようになった。



2018年2月2日 11:47:37	明日のよてい
1時間目	国語
2時間目	算数
3時間目	体育
4時間目	国語
5時間目	ベッパ-
6時間目	
持ってくるもの	
しゅくだい	プリント 音楽 読書 漢字
ふりかえり	今日は、音楽をがんばりました。けんぼんハーモニカを やりました。かんたんでした。
先生から	けんぼんハーモニカ、かんたんだったって、ずーい (54)

⑫デジタルノートを活用する

☆Qさんにとって使いやすいノートにしていくために

理科ノートで導入

- ・ワークシート形式になっている
- ・自分でノートのレイアウトを考える負担がない

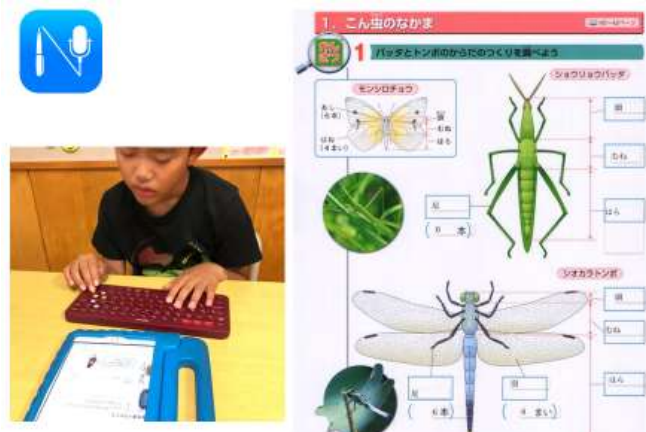
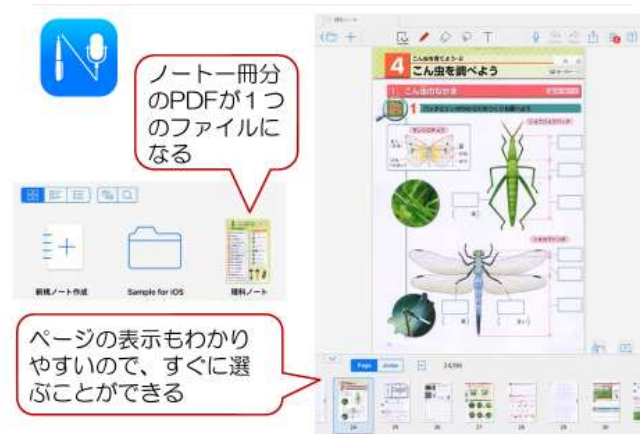
Qさんの理科ノートに必要な機能

- ・ノート一冊分の情報を参照しやすい
- ・テキストが自由に書き込める
- ・画像が貼り付けられる

※「MetaMoJi Note」を選択



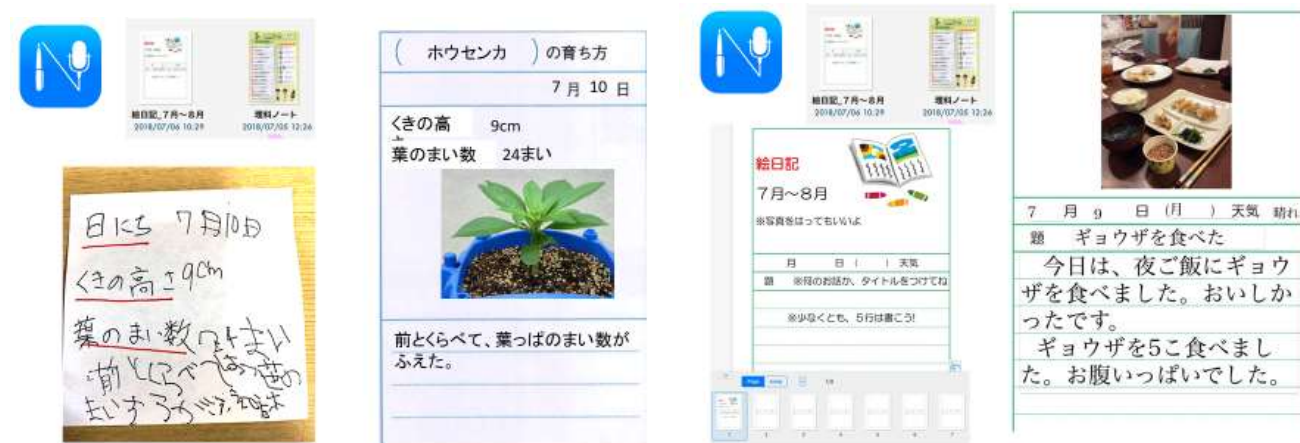
好きな場所に、テキストを入力することができる



ぬったり、動かしたりしてまとめていくこともできる。



後から参照しやすい記録が取れる



- ・理科ノートは、書き込む場所がはっきりとしているワークシート形式だったことで、無理なく情報をまとめていくことができた。
- ・入力については、物理キーボードでもオンスクリーンキーボードでもどちらでも自分で選んで使えることを伝えているが、画面が広く見える物理キーボードを好んで使う姿が見られた。
- ・物理キーボードに、短時間でも毎日触れる活動を行ってきたことで、負担感を持つことなく、入力方法の選択肢が広がっている。
- ・書いたものが後から参照しやすいため、情報量が増える中でも、学習にスムーズに取り組んでいる。

13 調べる・まとめる

☆春の植物を調べよう（理科）



☆春の植物を調べよう

写真を撮って、「花判定機」で名前を調べる



写真を撮ると、候補が出てくる

候補を選ぶと画像が表示される

保存後、Wikipediaでも確認できる

☆春の植物を調べよう

撮った画像+調べた名前+見つけた場所で図鑑に登録



- ・春の植物を探す→名前を調べる→時点にまとめる→場所も一緒に掲示で示すという流れで学習を進めた。
- ・画像から植物名を調べることができる「花判定機」は、「これはなんだろう」というQさんの興味関心を高めていくのに有効だった。
- ・植物を見つけた場所も正確に覚えていて、掲示の作成にも意欲的だった。
- ・掲示を見たいいろいろな学年の子ども達から「すごいね」「これ俺も知ってる」とたくさん声をかけてもらったことも、さらに「調べたい」という気持ちにつながっていた。

☆東出雲町を調べよう（社会）

- ・GoogleEarthや「私たちの松江」（副読本）で調べた自分の住む町の情報を、使い慣れたロイロノートを使ってまとめていった
- ・項目を入れたら、そこからは1人で音を入れたりつないだりという作業を進めることができた。

☆東出雲町を調べよう

Google Earthと「私たちの松江」を見て、気になった場所や事柄をまとめていった。最後に東出雲町クイズもつけた。



- ・保護者や同級生に発表する場を持った。



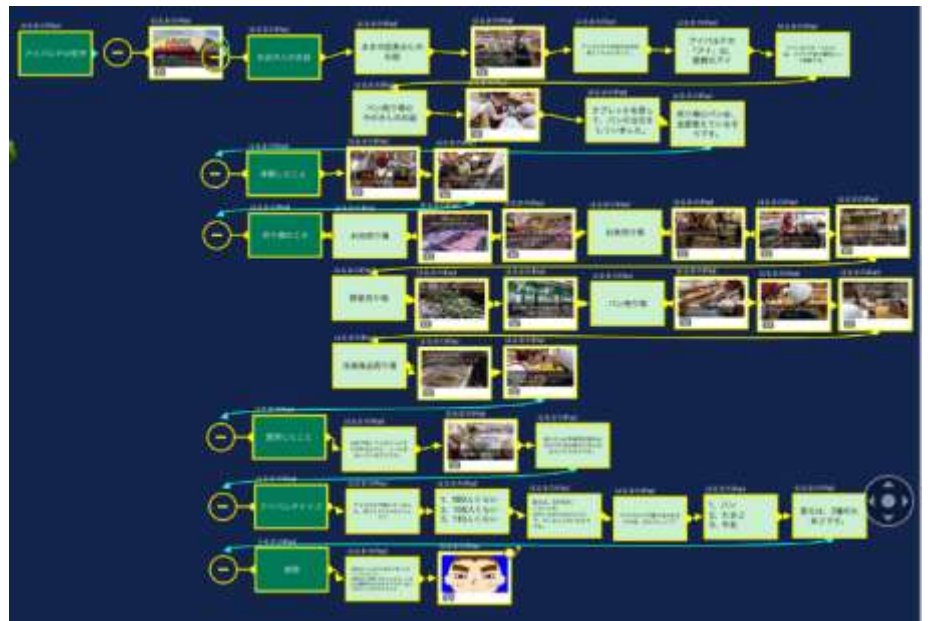
・知っていたこと、初めて知ったこと、調べたことを、1つの話題ごとにカード化していったため、最終的にはかなり多くの情報量になったが、負荷なくまとめていけた。

・音を付けてまとめていく中で、調べたことを繰り返し確認することができた。

・評価を受ける場があったことで、自信につながった。

・次の学習でも、見通しを持ってまとめていく事ができた。

(→「アイパルテの見学」体験した事、質問した事、売り場の工夫などの情報をカテゴリーごとに分けて整理している)

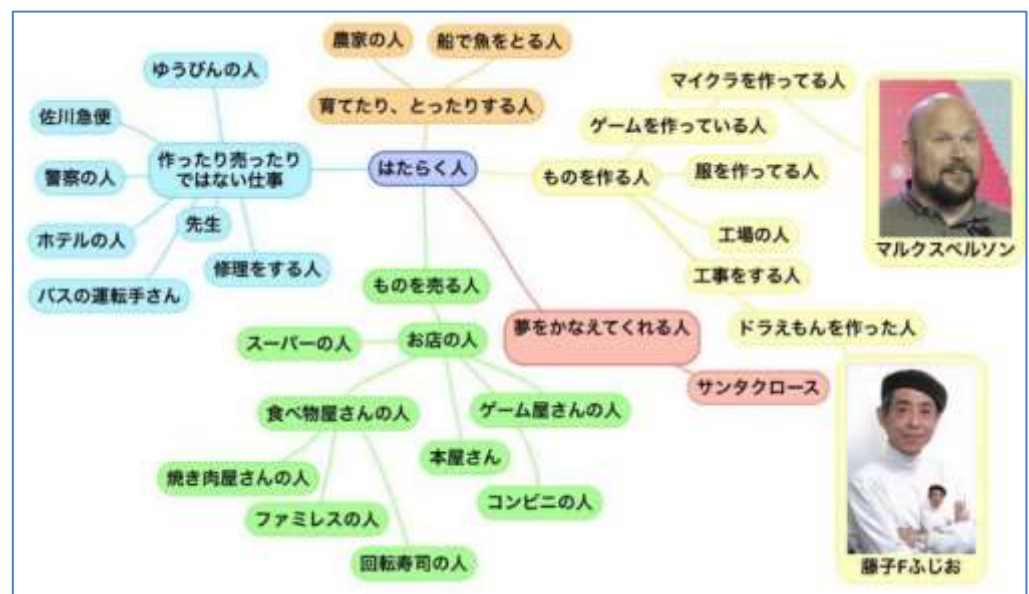


☆働く人とわたしたちの暮らし(社会)

・マインドマップで「働く人」について思いつくままに上げていき、仲間わけをしてグループごとに名前をつけていった。

・具体的な名前が出たものについては画像も調べて添えることで、「この人がこの仕事をしているんだ」という具体的なイメージを持つこともできた。

・「サンタクロース」はどのグループにも入らないといってしばらく考えてから「夢を叶えてくれる人」と打ち込んだ。意外な語彙におどろかされた。



3. 自学年の学習に取り組むためのツールとして

⑭ デジタルノートを活用する 2



- ・書きの困難のため、桁の増えた算数の計算での間違いが増えた。

 印刷した問題だと、桁の多い計算も一桁をかける計算も正確にできるが、自分で問題を書くと間違いが顕著に増える

繰り上がりを2回足している



 2桁をかける計算になると、問題が印刷されていても、間違えてしまう。

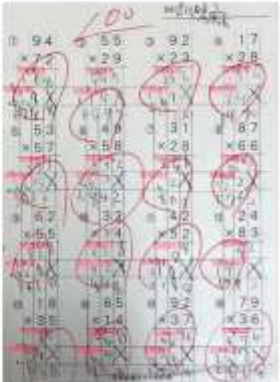
繰り上がりの数字が大きく答えの数字と区別が付きにくい

足さなくてもいい数字を足してしまい、間違ふ



- ・ガイドがあれば正確に解ききれ。

 線とガイドがあれば、2桁をかける計算も正確に解ける



 先生にガイドをつけてもらえばできる

色つきの用紙を印刷してもらえばできる

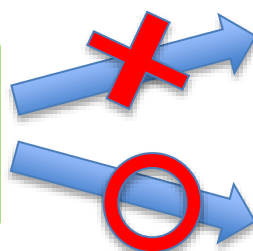
必要とき、いつでも「自分で」解決出来るにできないか

誰かがいないと「できない」になってしまう。



- ・しかし、数式の入力をデジタル化すると、別の負荷が増えてしまう。
- ・そこで、アナログのノートでしていた支援をデジタルにし、作業はアナログの手軽さを残すことで「自分で解決できる」手立てにできないかと考えた。

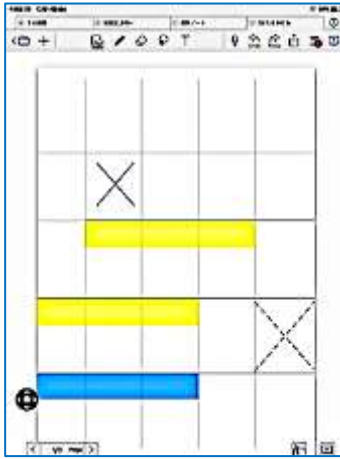
算数の計算はできる
↓
書きの困難のため間違ふ



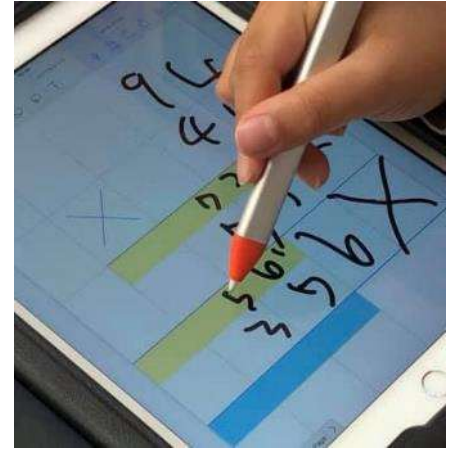
数字を入力する
↓
作業が煩瑣になる
入力するために思考が止まり、
何をしていたかわからなくなる

用紙をデジタル化する
↓
ガイドがあることで混乱が少ない
間違えた時も、すぐに消して直せる
機器にいれておけば、自分が必要だ
と思う場面で、いつでも使える

・ガイドがある用紙を背景にしてデジタル化



- ← 線り上がりを書く場所にあらかじめ色をつけておく事と、マス用の紙にしておくことで、混乱を軽減
- ← 1 ページに 1 問表示で捕らえやすく
- ← 消す負担も軽減
- 指とペンで書き込みを比較し、ペンで書くことを選択
- 解答が出たら、鉛筆に持ち替えてノートやプリントに解答



- ・必要な時に自分でデジタルノートを開いて計算に取り組む事ができた。
- ・マスのついていない問題でも、2 桁をかけるケースでも、ミスが減り解ききれ自信が高まっている。

⑮外国語活動での活用

☆日本語の読み書きを習得していったすがたを踏まえて Q さんが英語を習得していく時に予想される困難

- ・アルファベットの形で混乱→文字認識
- ・文字と音のつながりで混乱→音韻操作

※母国語ではないため、正しい形に触れたり正しい音に触れたりする機会も圧倒的に少ないため、ひらがなや漢字の習得以上に苦手さが顕著に現れるのではないかな？

☆Q さんの英語学習のステップ

文字認識→3 年時はアルファベットの習得を目指す

○大文字の名前を知る

- ・音を聞いて・・・2 択から選べる→○択から選べる
- ・形を見て・・・似ているところや違うところがわかる
- ・文字を見て・・・名前が言える

○小文字の名前を知る

- ・形を見て・・・大文字と似た形のものを選べる c.e.i.j.k.m..n.o.p.s.t.u.v.w.x.y.z

※残り 9 字は大文字と同じステップで

○確認しながら書く練習をする

- ・アプリを使って・ガイドのあるワークブックで
- ・似た形の中から、目的の形が選べる
- ・形の違いを言語化して意識づける

音韻操作→3 年時は言葉の塊を意識できることと英語の語彙を増やすことを目指す

○言葉の塊を意識させる

・Let's Try に出てくる英文を、画像と音声のついたデジタルカードを使って言葉の塊に分けたり、選んで組み立てて文章にしたりする。

○英語の語彙を増やす

- ・Let's Try に出てくる単語を中心に、身近な単語を音声と画像のついたカードにまとめる。
- ・音→絵、絵→音が選べるようになる。

○使う体験、調べて解決する体験を重ねる

☆文字認識→アルファベットの習得を目指すための取り組み

大文字と小文字のマッチングする

選ぶからスタート

- 最初は、大文字のABCしかわからなかった
- 5枚ずつ提示し「Aはどれ？」と選ばせた
- 選んだら裏返して「AppleのAだね」と確認
- 少しずつ枚数を増やしていった。
- 大文字が全部選べるようになったところで、小文字とのマッチングにも取り組んだ



大文字と小文字のマッチングする



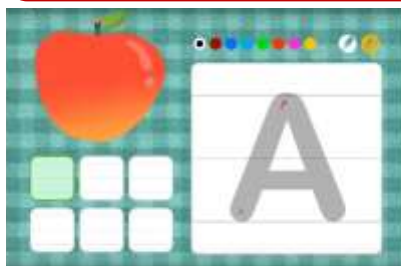
画像に大文字、テキストに小文字を入力して、音をALTさんに入れてもらった

文字のとりえやすさを支える



慣れている方法で確認

- ひらがな、カタカナ、漢字の習得で使ったのと同系列のアプリ
- 始点、終点、方向性が一画ずつ出てくる



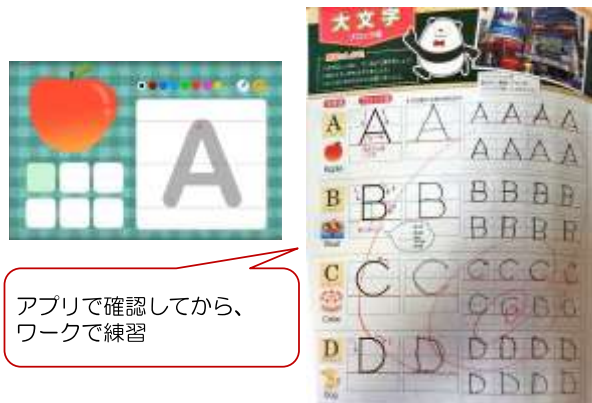
文字のとりえやすさを支える



中1用のワーク、見やすく、始点にマークが入っていてわかりやすい

3年生用のローマ字ワークでの練習1 考えたが、比較して本人が中1用を選んだ

文字のとりえやすさを支える

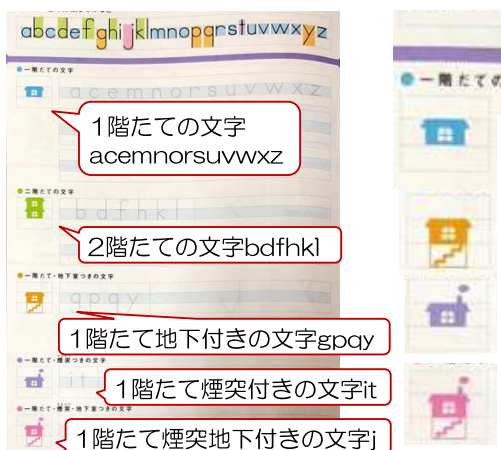


アプリで確認してから、ワークで練習

文字のとりえやすさを支える



- 始点と終点にガイドがある
- 4線の中央エリアに色がついている



1階たての文字
acemnorstuvwxz

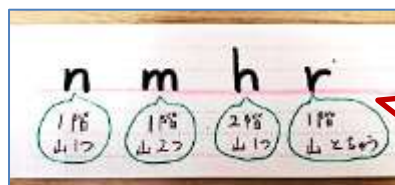
2階たての文字
bdfhkl

1階たて地下付きの文字
gpqy

1階たて煙突付きの文字
it

1階たて煙突地下付きの文字
j

わかりやすい言葉とシンプルな図がついていることで、形の特徴や書く場所をとらえやすい



間違いやすい文字を机に付箋を貼って確認

仲間探しをして特徴を確認

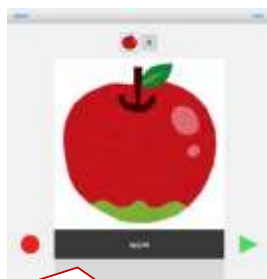


☆音韻操作→言葉の塊を意識できることと英語の語彙を増やすことを目指しての取り組み

正しい音で学習するために
音の入力は、ALT の先生
にお願い。
正しい音で、カードを作成



単語の音とイメージをつなげる



画像を探してカードにL み込み、綴りをお手本を見ながら入A して準備
音をALTの先生に入れてもらった。



単語の音とイメージをつなげる

音を聞いて、画像を選ぶ



画像を見て音が正解か選ぶ

言葉の塊を意識させる



What color
do you like?



言葉の塊を意識させる

What • • do you like?



「キムチ鍋が好き!」→追加
I like Kimuchinabe



「全部好きは?」
「All fruitかな」
I like All fruit

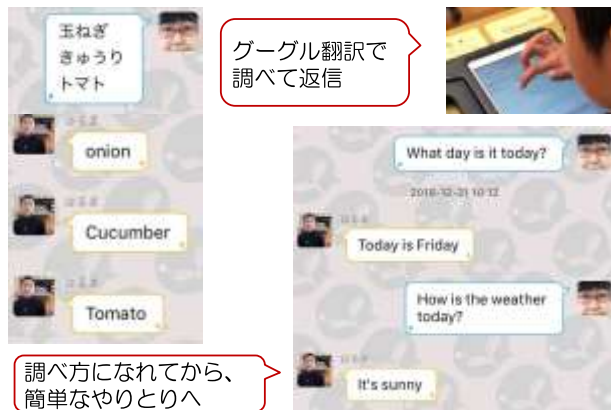
言葉の塊を意識させる



日付や天気など、日常
の中で繰り返しやすい
キャンパスも作成

- ・言葉の塊を選ぶ→再生して確認→復唱というパターンでの学習は捉えやすく、キーワードを入れ替えてのやりとりにもスムーズにつながった。
- ・英語のスペルをカードに入力していく作業の中で、キーボードの英数配列の場所についても習得が進んでいる。

調べて解決する体験を重ねる



調べて解決する体験を重ねる



・問題をコピー→検索→音を復唱→解答をコピー→ペーストして解答というパターンをすぐに覚えて、スムーズに調べて解決することができていた。

【報告者の気づきとエビデンス】

○報告者の主観的気づき

☆少人数の仲間と協力して活動に取り組んだことで、周囲との関わり方への見通しが持てたのではないかと

☆代替え手段を選択しながらノートテイクを行っていくことで、情報を調べたりまとめたりすることがスムーズになり、学習意欲につながったのではないかと

☆自学年の学習に取り組むためのツールとして活用した事で、「自分で解決する」方法の広がりにつながったのではないかと

・「関わる対象や機会の広がり」を目指しての取り組みでのエピソードから

・P.H.C.のメンバーと、企画や項目を出し合っている時のQさんは、いつもとても楽しそうだった。友達の意見を聞いて、「だったらこれもいいんじゃないの」と自分からの提案をしたり、「それいいねえ!」と反応を返したりする姿が、自然に見られるようになってきた。

・ふざけて面白いことを言う子がいた時は、みんなと一緒に爆笑するなど、会話の中の一員となっている姿も見られた。



題 ギョウザを食べた

今日は、夜ご飯にギョウザを食べました。おいしかったです。

ギョウザを5こ食べました。お腹いっぱいでした。

7月9日の日記

題 コストコに行った

今日は、広島のコストコに行きました。とちゅうで車のまどを見てみたら雪がふっていました。雪は、まるでさくらのようにきれいだとおもいました。またみたいです。

12月9日の日記

・書く負担が軽減されたことで、書く機会が増えた。日常的に文章を書くようになったことで、内容にも変化が出てきた。

・「疑問を持つ→調べる」から、「知っていた他の知識とつながっていく」姿が見られた。

太陽がなくなったら どうなる？

地球がこおる
植物が死んでしまう→空気が作れない→息ができない
地球が遠くへとばされてしまう



日なたの地面が日陰より温かいのは太陽の光が当たっているからと学習

↓

「太陽がなくなったらどうなるの？」

↓

調べてノートにまとめる

↓

「昔もなかったことがあるの？」

※「地球が凍ってしまう氷河期が大昔に会った」と知っていて、その知識とつなげて考えたようだった。

・校外学習や交流学級での学習場面で、手を挙げて発言する姿が見られるようになってくるなど、「知りたい」という気持ちの高まりを感じる場面が増えた。

・右は柿農家さんの見学にいった際、「柿の木は全部で何本くらい植えられているのか」を質問した時の様子。左はスーパーマーケットの見学で、棚に並んでいるパンについているマークの意味を訪ねている所

・音楽の時間でも全校朝礼でも、しぶしぶうたっている感満載だったQさんが、最近よく歌を歌っている。



「調べる」「まとめる」
体験の広がり



学校での学習でだけでなく
日常の中で活用し、
自分で情報にアクセスして
選び取っていく姿へ

もっと知りたい・もっと見つけたい

YouTubeで「替え歌」を探して、気に入ったものは一旦停止をしながら歌詞をメモにうつして楽しんでいるようだ。

・「以前はゲームをするかアニメを見るかという感じだったんですが、最近は自分でどんどん検索して、好きなものを探して楽しんでいますね。検索も、以前は大人に頼んでいたのに、いつの間にか自分でできるようになっていました。」(母談)

☆自学年の学習に取り組むための活動でのエピソードから

・外国語活動であるフアベットの弁別や名前との一致、4線の位置に着目しての練習をおこなっていたことで、2学期のローマ字の学習が、とてもスムーズだった。「a,b,d」など、似た形出会ってもしっかり区別できていたおかげで、ローマ字表から目的の文字を探すという作業も開かなく取り組めたため、たくさん「調べる→書く」という活動に取り組め、定着につながった。

1. a	2. s	3. t	4. k	5. n	6. m	7. y	8. r	9. l	10. o	11. p	12. q	13. u	14. v	15. w	16. x	17. z
18. j	19. c	20. g	21. f	22. h	23. b	24. d	25. p	26. q	27. r	28. s	29. t	30. u	31. v	32. w	33. x	34. y
35. z	36. a	37. b	38. c	39. d	40. e	41. f	42. g	43. h	44. i	45. j	46. k	47. l	48. m	49. n	50. o	51. p
52. q	53. r	54. s	55. t	56. u	57. v	58. w	59. x	60. y	61. z	62. a	63. b	64. c	65. d	66. e	67. f	68. g
69. h	70. i	71. j	72. k	73. l	74. m	75. n	76. o	77. p	78. q	79. r	80. s	81. t	82. u	83. v	84. w	85. x
86. y	87. z	88. a	89. b	90. c	91. d	92. e	93. f	94. g	95. h	96. i	97. j	98. k	99. l	100. m	101. n	102. o
103. p	104. q	105. r	106. s	107. t	108. u	109. v	110. w	111. x	112. y	113. z	114. a	115. b	116. c	117. d	118. e	119. f
120. g	121. h	122. i	123. j	124. k	125. l	126. m	127. n	128. o	129. p	130. q	131. r	132. s	133. t	134. u	135. v	136. w
137. x	138. y	139. z	140. a	141. b	142. c	143. d	144. e	145. f	146. g	147. h	148. i	149. j	150. k	151. l	152. m	153. n
154. o	155. p	156. q	157. r	158. s	159. t	160. u	161. v	162. w	163. x	164. y	165. z	166. a	167. b	168. c	169. d	170. e
171. f	172. g	173. h	174. i	175. j	176. k	177. l	178. m	179. n	180. o	181. p	182. q	183. r	184. s	185. t	186. u	187. v
188. w	189. x	190. y	191. z	192. a	193. b	194. c	195. d	196. e	197. f	198. g	199. h	200. i	201. j	202. k	203. l	204. m
205. n	206. o	207. p	208. q	209. r	210. s	211. t	212. u	213. v	214. w	215. x	216. y	217. z	218. a	219. b	220. c	221. d
222. e	223. f	224. g	225. h	226. i	227. j	228. k	229. l	230. m	231. n	232. o	233. p	234. q	235. r	236. s	237. t	238. u
239. v	240. w	241. x	242. y	243. z	244. a	245. b	246. c	247. d	248. e	249. f	250. g	251. h	252. i	253. j	254. k	255. l
256. m	257. n	258. o	259. p	260. q	261. r	262. s	263. t	264. u	265. v	266. w	267. x	268. y	269. z	270. a	271. b	272. c
273. d	274. e	275. f	276. g	277. h	278. i	279. j	280. k	281. l	282. m	283. n	284. o	285. p	286. q	287. r	288. s	289. t
290. u	291. v	292. w	293. x	294. y	295. z	296. a	297. b	298. c	299. d	300. e	301. f	302. g	303. h	304. i	305. j	306. k
307. l	308. m	309. n	310. o	311. p	312. q	313. r	314. s	315. t	316. u	317. v	318. w	319. x	320. y	321. z	322. a	323. b
324. c	325. d	326. e	327. f	328. g	329. h	330. i	331. j	332. k	333. l	334. m	335. n	336. o	337. p	338. q	339. r	340. s
341. t	342. u	343. v	344. w	345. x	346. y	347. z	348. a	349. b	350. c	351. d	352. e	353. f	354. g	355. h	356. i	357. j
358. k	359. l	360. m	361. n	362. o	363. p	364. q	365. r	366. s	367. t	368. u	369. v	370. w	371. x	372. y	373. z	374. a
375. b	376. c	377. d	378. e	379. f	380. g	381. h	382. i	383. j	384. k	385. l	386. m	387. n	388. o	389. p	390. q	391. r
392. s	393. t	394. u	395. v	396. w	397. x	398. y	399. z	400. a	401. b	402. c	403. d	404. e	405. f	406. g	407. h	408. i
409. j	410. k	411. l	412. m	413. n	414. o	415. p	416. q	417. r	418. s	419. t	420. u	421. v	422. w	423. x	424. y	425. z
426. a	427. b	428. c	429. d	430. e	431. f	432. g	433. h	434. i	435. j	436. k	437. l	438. m	439. n	440. o	441. p	442. q
443. r	444. s	445. t	446. u	447. v	448. w	449. x	450. y	451. z	452. a	453. b	454. c	455. d	456. e	457. f	458. g	459. h
460. i	461. j	462. k	463. l	464. m	465. n	466. o	467. p	468. q	469. r	470. s	471. t	472. u	473. v	474. w	475. x	476. y
477. z	478. a	479. b	480. c	481. d	482. e	483. f	484. g	485. h	486. i	487. j	488. k	489. l	490. m	491. n	492. o	493. p
494. q	495. r	496. s	497. t	498. u	499. v	500. w	501. x	502. y	503. z	504. a	505. b	506. c	507. d	508. e	509. f	510. g
511. h	512. i	513. j	514. k	515. l	516. m	517. n	518. o	519. p	520. q	521. r	522. s	523. t	524. u	525. v	526. w	527. x
528. y	529. z	530. a	531. b	532. c	533. d	534. e	535. f	536. g	537. h	538. i	539. j	540. k	541. l	542. m	543. n	544. o
545. p	546. q	547. r	548. s	549. t	550. u	551. v	552. w	553. x	554. y	555. z	556. a	557. b	558. c	559. d	560. e	561. f
562. g	563. h	564. i	565. j	566. k	567. l	568. m	569. n	570. o	571. p	572. q	573. r	574. s	575. t	576. u	577. v	578. w
579. x	580. y	581. z	582. a	583. b	584. c	585. d	586. e	587. f	588. g	589. h	590. i	591. j	592. k	593. l	594. m	595. n
596. o	597. p	598. q	599. r	600. s	601. t	602. u	603. v	604. w	605. x	606. y	607. z	608. a	609. b	610. c	611. d	612. e
613. f	614. g	615. h	616. i	617. j	618. k	619. l	620. m	621. n	622. o	623. p	624. q	625. r	626. s	627. t	628. u	629. v
630. w	631. x	632. y	633. z	634. a	635. b	636. c	637. d	638. e	639. f	640. g	641. h	642. i	643. j	644. k	645. l	646. m
647. n	648. o	649. p	650. q	651. r	652. s	653. t	654. u	655. v	656. w	657. x	658. y	659. z	660. a	661. b	662. c	663. d
664. e	665. f	666. g	667. h	668. i	669. j	670. k	671. l	672. m	673. n	674. o	675. p	676. q	677. r	678. s	679. t	680. u
681. v	682. w	683. x	684. y	685. z	686. a	687. b	688. c	689. d	690. e	691. f	692. g	693. h	694. i	695. j	696. k	697. l
698. m	699. n	700. o	701. p	702. q	703. r	704. s	705. t	706. u	707. v	708. w	709. x	710. y	711. z	712. a	713. b	714. c
715. d	716. e	717. f	718. g	719. h	720. i	721. j	722. k	723. l	724. m	725. n	726. o	727. p	728. q	729. r	730. s	731. t
732. u	733. v	734. w	735. x	736. y	737. z	738. a	739. b	740. c	741. d	742. e	743. f	744. g	745. h	746. i	747. j	748. k
749. l	750. m	751. n	752. o	753. p	754. q	755. r	756. s	757. t	758. u	759. v	760. w	761. x	762. y	763. z	764. a	765. b
766. c	767. d	768. e	769. f	770. g	771. h	772. i	773. j	774. k	775. l	776. m	777. n	778. o	779. p	780. q	781. r	782. s
783. t	784. u	785. v	786. w	787. x	788. y	789. z	790. a	791. b	792. c	793. d	794. e	795. f	796. g	797. h	798. i	799. j
800. k	801. l	802. m	803. n	804. o	805. p	806. q	807. r	808. s	809. t	810. u	811. v	812. w	813. x	814. y	815. z	816. a
817. b	818. c	819. d	820. e	821. f	822. g	823. h	824. i	825. j	826. k	827. l	828. m	829. n	830. o	831. p	832. q	833. r
834. s	835. t	836. u	837. v	838. w	839. x	840. y	841. z	842. a	843. b	844. c	845. d	846. e	847. f	848. g	849. h	850. i
851. j	852. k	853. l	854. m	855. n	856. o	857. p	858. q	859. r	860. s	861. t	862. u	863. v	864. w	865. x	866. y	867. z
868. a	869. b	870. c	871. d	872. e	873. f	874. g	875. h	876. i	877. j	878. k	879. l	880. m	881. n	882. o	883. p	884. q
885. r	886. s	887. t	888. u	889. v	890. w	891. x	892. y	893. z	894. a	895. b	896. c	897. d	898. e	899. f	900. g	901. h
902. i	903. j	904. k	905. l	906. m	907. n	908. o	909. p	910. q	911. r	912. s	913. t	914. u	915. v	916. w	917. x	918. y
919. z	920. a	921. b	922. c	923. d	924. e	925. f	926. g	927. h	928. i	929. j	930. k	931. l	932. m	933. n	934. o	935. p
936. q	937. r	938. s	939. t	940. u	941. v	942. w	943. x	944. y	945. z	946. a	947. b	948. c	949. d	950. e	951. f	952. g
953. h	954. i	955. j	956. k	957. l	958. m	959. n	960. o	961. p	962. q	963. r	964. s	965. t	966. u	967. v	968. w	969. x
970. y	971. z	972. a	973. b	974. c	975. d	976. e	977. f	978. g	979. h	980. i	981. j	982. k	983. l	984. m	985. n	986. o
987. p	988. q	989. r	990. s	991. t	992. u	993. v	994. w	995. x	996. y	997. z	998. a	999. b	1000. c	1001. d	1002. e	1003. f
1004. g	1005. h	1006. i	1007. j	1008. k	1009. l	1010. m	1011. n	1012. o	1013. p	1014. q	1015. r	1016. s	1017. t	1018. u	1019. v	1020. w
1021. x	1022. y	1023. z	1024. a	1025. b	1026. c	1027. d	1028. e	1029. f	1030. g	1031. h	1032. i	1033. j	1034. k	1035. l	1036. m	1037. n
1038. o	1039. p	1040. q	1041. r	1042. s	1043. t	1044. u	1045. v	1046. w	1047. x	1048. y	1049. z	1050. a	1051. b	1052. c	1053. d	1054. e
1055. f	1056. g	1057. h	1058. i	1059. j	1060. k	1061. l	1062. m	1063. n	1064. o	1065. p	1066. q	1067. r	1068. s	1069. t	1070. u	1071. v
1072. w	1073. x	1074. y	1075. z	1076. a	1077. b	1078. c	1079. d	1080. e	1081. f	1082. g	1083. h	1084. i	1085. j	1086. k	1087. l	1088. m
1089. n	1090. o	1091. p	1092. q	1093. r	1094. s	1095. t	1096. u	1097. v	1098. w	1099. x	1100. y	1101. z	1102. a	1103. b	1104. c	1105. d
1106. e	1107. f	1108. g	1109. h	1110. i	1111. j	1112. k	1113. l	1114. m	1115. n	1116. o	1117. p	1118. q	1119. r	1120. s	1121. t	1122. u
1123. v	1124. w	1125. x	1126. y	1127. z	1128. a	1129. b	1130. c	1131. d	1132. e	1133. f	1134. g	1135. h	1136. i	1137. j	1138. k	1139. l
1140. m	1141. n	1142. o	1143. p	1144. q	1145. r	1146. s	1147. t	1148. u	1149. v	1150. w	1151. x	1152. y	1153. z	1154. a	1155. b	1156. c
1157. d	11															

【今後に向けて】

1, 情報を共有する方法を増やしていくツールとして

- ・「Pepper を通じて友達と関わる」→「友達と一緒に Pepper に関わる」をさらに広げて、「友達と Pepper で役に立つ」活動を目指したい。活動の目的に「喜んでもらえる」「役に立つ」を入れることで、ただ一緒に楽しんでいる段階から、役割意識や自己有用感につなげていきたい。

2, 「読み」「書き」の習得を支えるツールとして

デジタルのノートテイクを、日常的な学習活動の中に広げていきたい

- ・理科、社会だけでなく、他の教科においても、デジタルのノートテイクを学習の中に取り入れていくことで、情報を整理して参照しながら学習していく見通しを持たせたい。

アナログの手立てをデジタル化していくことで、自己解決の方法を増やしていきたい

- ・算数を中心に教材のデジタル化をしていくことで、解決への手立てを必要に応じて自分で選択して行けるようにしたい

英語学習への手立てを引き続き検証したい

- ・3 年生で取り組んできたことを広げて、英語の音と意味をつなげていくことや日常の簡単な会話を言葉の塊を意識してやりとりできることを目指したい。